

越前国掾大伴宿禰池主の来贈する戯れの

歌四首

四一二八番

草枕くさまくら 旅たびの翁おきなと 思おもほして 針はりそ賜たまへる 縫ぬは
む物ものもが

四一二九番

針袋はりぶくろ 取とり上げ前まへに置おき 返かへさへば おのとも
おのや 裏うらも継つぎたり

四一三〇番

針袋はりぶくろ 帯おび続つけながら 里さとごととに 照てらさひあ
るけど 人ひとも咎とがめず

四一三一番

鶏とりが鳴なく 東あづまをさして ふさへしに 行ゆかむと
思おもへど よしもさねなし